

平成26年 6 月 5 日

各 位

東北大学埋蔵文化財調査室長 阿子島香

仙台城跡二の丸第18地点の現地説明会の開催について（案内）

当調査室の運営につきまして、ご協力いただきありがとうございます。

東北大学川内南地区の被災した講義棟を建て替える形で計画されている総合研究棟（国際文科学系）新営に伴う埋蔵文化財調査を、4月から6月末までの予定で実施しております。調査成果がおおむねまとまりましたので、現地説明会を開催いたします。お忙しい中とは存じますが、ご来跡くださるよう、ご案内いたします。

記

日時：平成26年 6 月14日（土）13:00～

現地説明会后、萩ホール（百周年記念会館）展示ギャラリーで開催している常設展『川内今昔物語』会場にて、当調査室担当者が仙台城跡出土資料の解説を行う予定です。あわせてご覧ください。

場所：仙台市青葉区川内27-1 東北大学川内南キャンパス

「東北大川内キャンパス・萩ホール前」バス停より徒歩5分。

※駐車スペースが限られていますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

調査の概要

- ・既存建物の基礎杭を利用し、新たな掘削範囲が発生しない工法で建築されるため、確認調査を実施した。
- ・既存建物の柱基礎で壊されている部分以外は、既存建物範囲でも良好に江戸時代の遺構面が保存されている部分が多いことが明らかとなった。
- ・二の丸期の礎石建物跡や石組溝跡などの遺構が、多数発見された。絵図との詳細な対比は検討中であるが、二の丸の表の建物群の、「上大所」や「下大所」付近と考えられる。
- ・検出された遺構群は、整地層上に構築されている。整地層は複数時期のものが確認でき、1638年の二の丸造営時、17世紀末の元禄時代の大改造、1804年の火災からの復興に伴うものと考えられる。
- ・二の丸の表の礎石建物がまとまって発見されたのは、1983年の第2地点の調査以来のこととなる。二の丸地区の建物群の実態解明の点で、貴重な成果となった。また、二の丸地区の遺跡の保存状態を把握するためにも、重要なデータが得られた。

連絡先：東北大学埋蔵文化財調査室（片平） 022-217-4995

埋蔵文化財調査室川内現場事務所 022-795-3378